

みさと 福祉だより

第12号

平成20年
2月29日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ㊟0187-85-2291
印刷・五十嵐印刷株式会社



～みんなの力で一斉除雪～

美郷町社会福祉協議会では、町内の一人暮らし老人・高齢者世帯・障害者世帯等の一斉除雪を行いました。訪問先の方から喜びの声をたくさんいただきました。今回ご協力してくださった中学生・高校生・ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。

地域福祉座談会

皆様の貴重なご意見 ありがとうございました



1月15日(火)～25日(金)に渡り、美郷町全域で「19年度地域福祉座談会」が開かれ、社協役職員が地域の会館にお伺いして、社会福祉協議会が行っている事業の説明やその地域で抱えている問題、社協に対する意見、要望等を話し合いました。

話し合われた内容(話題・意見)

☆地域住民グループ支援事業について

- とても楽しみにしている。日中家に一人では会話もないし、笑うこともない。これからずっと参加していきたい。

- 実施するうえで助成金があるのは大変ありがたい。

- 老人クラブに加入するには60歳以上と年齢の対象があるが、この事業は誰でも参加できるのでとても良いものだと思う。

- 地域住民のコミュニケーションはとても大切なものである。ふれ愛サロンのつながりにおいて重要な役割を果たしている。



☆生きがい活動支援通所事業について

- 近所にデイサービスの利用者がいるのだが、いつも利用日を心待ちにしている。帰ってきてからも、いきいきとした表情で内容を教えてくれ、楽しかったことが伺える。

- グラウンドゴルフが楽しく、いろんな場所へ出かけてはプレイをしている。その回数が減ってきたらデイサービスを利用したい。

☆住民の足について

- 唯一の交通手段だった路線バスが廃止され、とても不便を感じている。

- バス路線の廃止は、住民の納得を得てからするべきではなかったか。

- 例えば、60歳代の無職の人がボランティアで移送サービスを行うなどの方法はどうか。

☆高齢社会について

- 住み慣れた地域で暮らすためには、健康でいるのが一番である。また、そのことは離れて暮らす子供にとっても安心なことである。

- さまざまな通知等を地域において配布する場合、順番により当番が決まっているのだが、最近は高齢者世

帯等、配布することが困難な世帯が増えてきている。今後、考えていかなければならない問題である。

- 家庭内において高齢者が疎外傾向にある。自分たちも考え方を割り切つていかなければならない必要がある。

- 昔と違い家族がいても一緒にいることもなく、バラバラであり一人暮らしと同じである。

- これからは、ますます一人暮らし等の高齢者が増え、何かあったとき誰かから駆けつけてもらいたいという人が増えてくると思う。

☆振り込め詐欺などについて

- 客を集めようと、しつこく迫りかけてきたり、土下座して頼みこむ強引な物売りがあった。

- 高額な健康食品の販売や電話による振り込め詐欺の事例が実際にあった。

- 福祉の名前を使って、チラシ配布の依頼や押し売りがある。

- 火災警報器等の設置が義務付けられることにより、また悪質な訪問販売が間違いないでくるだろう。



☆地域の集まりや連帯などについて

- 女性に比べて男性の集まる機会が少ない。また、参加しない。

- 地域での付き合いや集まりが無くなってきている。

- チラシ等が回つても興味がなくあまり見ないが、地域の人が集まることで、さまざまなることを知ることができる。

- 時代の流れで便利なものが増えたことにより、考え方にも年代の差ができてきている。

- 近隣には気を使うが、やはり地域のつながりは大切である。

- 地域のつながりや支えあいは年齢に関係なく、みんな支え合うものだと思う。

- 若い人たちは会社の同僚とのつながりは大きいが、地域での付き合いがほとんどないため、年をとってから大変なのではないか。

- 隣が一人暮らしなので、大変だと思ひ玄関前の雪寄せをしたら、シルバー人材の方の仕事がなくなるので、やめてほしいと言われた。

- 新しく引越してきた家族の名前や、家族構成がなかなか把握できないため、緊急時等対応できない場合がある。

☆トータルケア推進事業について

- 昨年の花いっぱい事業で取り組んだ杜協の花はとてもきれいでよかった。また、子ども達も積極的に参加してくれてうれしかった。

- 「まめだ屋」に今度みんなで行ってみたい。

- 「まめだ屋」は家賃を払ってまでやらなければいけない事業なのか。会館等を利用してその家賃代等を福

祉の方に回したらいいのではないかなと思うのだが。

☆総合相談事業について

●身近に相談できる場所があるというだけで、安心していられる。

☆地域福祉座談会について

●福祉も年々複雑になってきているし、サービスを受けられる対象者もどんどん増えている。今回参加したことで、社協が広範囲にわたり事業を行っていることがわかった。もっと、多くの人が参加し、内容を知ってもらえればと思った。

☆一斉除雪活動事業について

●子ども達が一生懸命がんばる姿がとても印象的で、訪問先の方も何度もお礼を言ってくれ、とても気持ち温かくなった。

●中学生、高校生が大人と一緒に交流を図りながら、地域の一人暮らし等の家を守っていく、とても素晴らしい事業である。

話し合われた内容(要望など)

☆地域住民グループ支援事業について

●助成金が3万円だと非常に助かるのだが……。また、時には講師をお願いして開催したいと思っているが、お金がかかってしまう。社協で斡旋してもらえないか。

☆会議や研修会の開催について

●地域の会館でも開催するようにしてほしい。
●健康増進、老化防止の機会をどん

どん作ってほしい。

●健康体操を来年度も実施してほしい。

●座談会を毎年開催してほしい。

☆住民の足について

●地域に買い物ができる店がなく、路線バスも廃止になってしまった。とても不便である。買い物や用足ができる巡回バスを是非お願いしたい。

●気軽に利用できる役場のシャトル便のようなものを運行できないか。

●医者や買い物・温泉に行くなど、生活の利便性を図るための交通手段を考えてほしい。

☆生活福祉資金について

●貸付利率が他の制度資金や民間よりも高くなっているので、低くならないものか。

☆トータルケア推進事業について

●出不精の男性を作らないためにも、生きがい男性地域貢献事業が活発に行われることを望む。



●休日自宅にいろいろな高齢者が居るので「まめだ屋」を休日も開放してほしい。

●色々なサークルが時々利用しているが、他の人が休みにくい状況になるときがあるので気を付けてもらいたい。

☆介護保険関係について

●介護度に関係なく、対象者の状況に応じて紙おむつを給付してほしい。

☆除雪について

●歩道の除雪が終わった後に道路の除雪が行われているため、結局は歩

以上、町民の皆様の貴重なご意見・ご要望をお聞きすることができ、大変参考になりました。

今回の座談会は、『誰もが安心して暮らせる地域づくり』をテーマに主として社協が取り組んでいる事業を資料に掲載し、それら事業について住民と一緒に考え、話し合い、その中で出された意見や要望を集約し、住民参加の福祉でまちづくりに向けて事業の推進を目的に座談会を開催しました。

社協で実施している事業の紹介・説明をメインに進めたところ、すべての事業を掲載しなかったのにも関わらず、『社協はこんなに多くの事業をやっているのか』『この事業も社協をやっていたのか』『頑張ってるな』とお褒めの言葉をいただくことができました。しかし、逆に言えばそれらのことが、これまで知られていなかったということになり、改めて住民へ周知することの難しさに気付かされました。



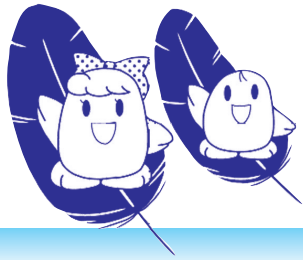
道に積み上げられる。とても危ないのでどうにかしてほしい。(主に歩道を歩くのは、高齢者と子どもである) ●玄関前に大きな雪の固まりを置いていけると、押すにも引くにもできない状態であるため、置かないようにしてほしい。

●広報等にも掲載し注意をしているが、道路に雪を出している家がある。とても危険なので、改めて町民へ周知徹底をお願いしたい。また、除雪車が集めてきた雪を排水溝(堰)に押し込むため、詰まってしまい後処理が大変である。処理する場所を考えて作業してほしい。

また、今回も介護保険についての質問や意見が出され関心の高さが伺えたが、それらを聞く限りでは、内容がまだまだ理解されていないものがほとんどであり、定着までには今後も時間を要すると感じました。

不景気の中、ますます複雑化していく世の中にあつて、バス路線の廃止や後期高齢者医療保険の年金からの天引き等、喜ばない現実に対応する参加者がいたもの、各会場からは『何か心配な時は福祉センターへ行けば良い』『民生委員や福祉センターへ相談すれば何とかなる』『また、『ここに来なければこんな話は聞くことができなかった』『聞きたいことが聞けてよかった』『今日、来て良かった』という声も多く聞くことができました。

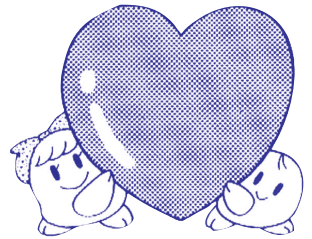
ある地域住民とひびを交え、貴重な生の声を直接聞くことのできるこの座談会は、美郷町社会福祉協議会にとってなくてはならないということを再確認しました。



赤い羽根共同募金

～善意とまごころをありがとうございました～

—美郷町共同募金会—



赤い羽根募金

7,454,681円

歳末たすけあい募金

1,060,710円

『地域の福祉、みんなで参加』をスローガンに昨年 10 月より実施しました「赤い羽根共同募金運動」は町民の皆様のご理解とご協力により、目標額を大きく上回る実績を上げることができました。厚く御礼を申し上げます。

今年度寄せられました善意「赤い羽根共同募金」の 7,454,681 円は秋田県共同募金会に送金され、平成 20 年度の各民間社会福祉施設や美郷町社協事業をすすめていくための貴重な財源として配分されます。

町社協では、この配分金を有効に活用し、地域福祉、在宅福祉を中心とした住民への福祉活動向上をはかるよう努力していきたいと考えています。

また、皆さまから善意としてお寄せいただきました「歳末たすけあい募金」は、在宅要援護世帯の方々にあたたかいお正月を迎えていただくためにお届けいたしました。

今後とも住民総参加による「福祉でまちづくり運動」への積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

◎町内要援護世帯・・・74 世帯（155 名）

＜歳末チャリティーバザー実施＞



町の福祉活動充実にむけて
たくさんの善意が寄せられました

● 赤い羽根募金実績

- ①戸別募金（5,807 件）…………… 5,814,519 円
（個人大口、空き缶募金含む）
- ②法人募金（128 件）…………… 1,046,000 円
- ③職域募金（37 件）…………… 144,031 円
- ④学校募金（11 件）…………… 337,241 円
- ⑤募金箱（14 件）…………… 112,890 円



一人ひとり善意と
やさしさを届けました

● 歳末たすけあい募金実績

- ①チャリティーバザー収益金…………… 509,322 円
- ②団体募金…………… 421,800 円
- ③職域募金…………… 10,324 円
- ④個人募金…………… 72,486 円
- ⑤募金箱・その他…………… 46,778 円



みんなで
誘いあって
お越し下さい

ボランティア会員研修会

期日:3月5日(水)午後2時~3時30分

場所:特別養護老人ホーム ロートピア仙南『地域交流スペース』

講演 「田吾作流ボランティアのすすめ」

講師 秋田県ボランティア団体連絡協議会
副会長 阿部 十全 氏

あのTV・ラジオで有名な
「阿部 十全」が美郷町にやってくる!

◇参加申込◇

3月3日(月)まで最寄りの福祉センターへご連絡をお願いします。

千畑福祉センター ☎85-2294

六郷福祉センター ☎84-0378

仙南福祉センター ☎83-2122

主催 美郷町ボランティア連絡協議会



家族介護者交流事業開催について

美郷町社会福祉協議会では、在宅で介護している方(介護度4・5)及び障害により寝たきりの方を介護している方を対象に、介護者同士の親睦とリフレッシュを図ることを目的に介護者交流会を下記の日程で行います。

日 時 平成20年3月16日(日)

場 所 巣郷温泉 クアハウス

日 程 千畑福祉センター出発 9:00

千畑ふれあいセンター 9:10

六郷福祉センター 9:20

六郷庁舎 9:30

仙南福祉センター 9:40

クアハウス出発 15:00



いざ巣郷温泉 クアハウスへ! 10:30 到着

対 象 者:在宅で介護をしている方(介護度4・5)及び障害により寝たきりの方を介護している方。

参加費:500円(当日徴収)

申込期日:平成20年3月7日(金)

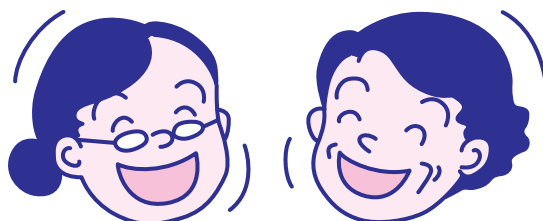
申込み・お問い合わせは

最寄りの福祉センターへご連絡をお願いします。

千畑福祉センター ☎85-2294

六郷福祉センター ☎84-0378

仙南福祉センター ☎83-2122



ボランティアポイントの交換について

社会福祉協議会では、平成16年11月1日から誰でも楽しくボランティア活動に参加できるよう、美郷町社会福祉協議会に登録したボランティア会員の活動時間をポイント化して、年間の累積点数が20点以上の方に町内3箇所共通の入湯券を贈呈してきましたが、平成20年3月31日をもって事業廃止となりますので、早めのポイント交換をお願いいたします。

＜例＞ ボランティアポイント

20点の方→ 5枚綴りの入湯券

40点の方→ 10枚綴りの入湯券

60点の方→ 5枚綴り+ 10枚綴りの入湯券

(交換期限) 平成20年4月30日まで

(交換場所) 美郷町社会福祉協議会



各福祉センターへ

○千畑福祉センター

☎ 85 - 2294

○六郷福祉センター

☎ 84 - 0378

○仙南福祉センター

☎ 83 - 2122

介護機器貸付事業の廃止について

社会福祉協議会では、在宅で介護されている家庭に介護機器を貸出す「介護機器貸付事業」を実施してきましたが、介護保険事業のレンタルによる利用が定着してきたことや、貸出し機器の衛生管理等も考え3月末日をもって事業を廃止する(新たな貸出しはしない)こととしました。

現在利用されている方についてはこれまで同様利用いただけます。



出張理容補助券の早めの交換をお願いします

社会福祉協議会より発行いたしました「19年度出張理容補助券」の交換期日が3月31日となっておりますので、まだ利用されていない方はお早目の利用を、また、補助券を交換されていない理容店の方もお早目の交換をお願いします。

(交換場所) 美郷町社会福祉協議会

各福祉センターへ

○千畑福祉センター ☎ 85 - 2294

○六郷福祉センター ☎ 84 - 0378

○仙南福祉センター ☎ 83 - 2122



ボランティア活動の紹介 百人一首は、楽しいヨ!!

昨年12月にロートピア仙南ケアハウス在住の小松紀子さんが、ボランティア活動として美郷町立仙南東小学校6年生22名に「百人一首」の講師として、「百人一首」の楽しさを教えてくれました。6年生の皆さんは、事前に「句」の勉強をしていた子が多く、「おもしろい」「わぁーとられた」などの声が教室中に響きわたっていました。



どれかな?

これが出たら
僕のもの



地域福祉トータルケア推進事業

清水の里ふれあいいきいきサロン『まめだ屋』

昨年9月にオープンし5ヶ月が過ぎようとしています。

現在、まめだ屋では毎月1度、簡単にできる料理教室と、和紙を使ってブローチやネックレスを作るおしゃれクラフトを開催しております。3月は4日(火)料理教室、11日(火)おしゃれクラフトを開催予定です。

おいしいパンと産みたて地鶏の卵も販売しております。どなたでも、お気軽にお立ち寄り下さい♪

喫茶コーナー ボランティア募集

(奉仕活動)

気軽に活動してみませんか?
コーヒー・紅茶などのサービスや
片付けを行う活動です。

問い合わせ 六郷福祉センター ☎(84)0378
まめだ屋 ☎(84)1758

利用について

利用日：月曜から金曜

利用時間：午前9時～午後5時（3月までの冬期間の終了時間は午後4時30分）

*誰でも自由に利用できます。ただし、団体等で利用する際は事前に申し込みが必要です。

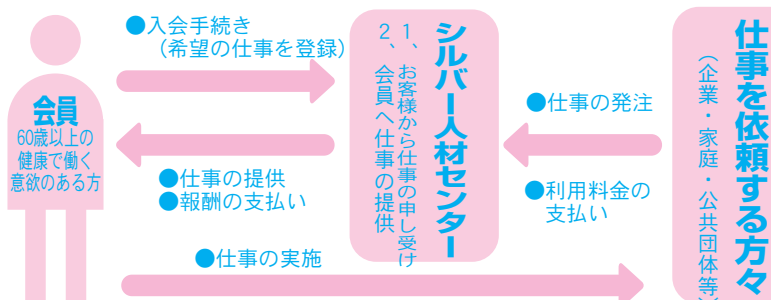


社団法人美郷町シルバー人材センター 会員募集!!

ご存じですか?

シルバー人材センターは、高齢者の就業機会を確保し提供するほか、技能講習・介護講習を実施し、就業分野の拡大に努め、生きがいの充実と社会参加の輪を広げ、福祉の増進に資することを目的とする団体です。

シルバー人材センターの仕組み



入会のおすすめ

シルバー人材センターに
入会しませんか?

生かそうキャリア

60歳以上で、働く意欲のある健康な方なら、どなたでも入会できます。

実施された仕事の内容と仕事量に応じ、配分金が支払われますが、一定の就業日数や収入が保障されるものではありません。

主な仕事内容

技能を生かす

- 植木の手入れ… 一般家庭や公園、公共施設等の植木の剪定、消毒などの作業
- 襖・障子貼り… 一般家庭などの襖や障子の張り替えを行う仕事
- 大工・左官・塗装 ●冬囲い



地域社会に生かす

- 公園清掃 ●駐輪・駐車場の管理 ●公共施設の管理など
- 除草・草刈・除雪 ●パンフレットの配布



お問い合わせ・申込先
(社)美郷町シルバー人材センター
(六郷老人福祉センター「清水苑」内)

TEL 0187 -84 -0307
FAX0187 -84 -0307

はじめての除雪活動

今回、千畑・六郷・仙南各地区の一人暮らし老人宅、高齢者世帯、身体障害者世帯の自宅廻りの除雪を中学生・高校生・ボランティアのご協力により、153軒のお宅を1,130名にて行いました。

仙南地区では平成12年から中学校の総合学習の一環として除雪活動が行われてきました。

千畑・六郷地区におきましては、今回が初めての試みではたして訪問件数に見合うボランティアが集まってくれるのか？大変不安でしたが、そんな心配をよそに中学校、高校をはじめ、各関係機関の全面的な協力により、予想を上回る人数が集まり、感謝というより感動しました！

皆様ありがとうございました。

実際訪問してみますと、屋根から落ちた雪により窓がふさがれてしまうというお宅が多々ありました。除雪は主にその雪を払い、少しでも光が入るよう頑張りました。今回始めて参加された方々より感想をいただきましたので紹介します。



雪寄せボランティアに参加して

僕は雪寄せボランティアをしてお年寄りの方の喜ぶ顔が見られて、とてもうれしかったです。それに自分が一生懸命雪寄せをしてお年寄りの方に感謝されてよかったです。(高橋 隆太さんより)

僕らの班は、けつこ雪で覆われたおばあさんの家に行きました。その家は、窓が割れそうなくらい危ない状態でした。だから僕は、おばあさんが雪寄せをしてくれてもいいくらい必死でがんばりました。雪寄せが終わったときはとてもスッキリになりました。この時の達成感はとてもうれしかったです。僕は中学生生活最後のボランティア活動だったので、参加してよかったと思いました。(石田 星哉さんより)

ボランティアに参加して、最初は義務的な気持ちで参加を希望しました。でも参加してみても、受験のストレス発散にもなったし、雪寄せをさせてもらった家の人の喜ぶ顔を見てこちらもうれしくなりました。またこういう機会があったら参加したいと思います。(高橋真里さんより)

寒くて雪寄せは大変だったけど、とてもやりがいがありました。喜んでもらえて嬉しかったです。(盛岡 舞さんより)

最初はあまり気が進みませんでした。でも、おじいさん、おばあさんの喜ぶ顔を見たら、やる気が出てきました。思ったよりも疲れたけど、参加してよかったと思いました。これからも進んでボランティア活動に参加したいです。(熊谷 沙季さんより)

僕は昔、家の雪寄せの手伝いをしていたので「雪寄せなんて楽勝だな」と思っていました。でも実際にやってみると、大人のボランティアの人達に色々なアドバイスをもらいました。自分もまだまだたなあと改めて実感しました。雪寄せはこん



なにも大変だったとは思っていませんでした。それと、雪寄せで地域の人々とも交流でき楽しい会話をする事ができました。これからも人々の役に立てるようになりたいと思います。(鈴木 翔太さんより)

雪寄せボランティア当日は雪が硬くて大変でしたが、お年寄りの方のためだと思うと精一杯頑張れたし、喜んでくれる笑顔を見ると嬉しかったです。また、たくさんボランティア活動に参加したいと思います。(高橋 春香さんより)

雪寄せボランティアに参加してみようと思ったことが2つあります。一つ目は、雪寄せが思ったより大変だったということです。今度からは家族の人に頼らず自分で積極的に雪寄せを手伝いたいです。二つ目は、ボランティア活動の大切さです。雪寄せが終わるその家の人に感謝された時ボランティア活動をやったよかったと思いました。(森川 徹さんより)

私は雪寄せボランティアして本当によかったと思います。おじいちゃん、おばあちゃんもきっと助かったと思います。私は少しでも人の役に立てて本当によかったと思います。(高橋 梨沙さんより)

地域の一人暮らしの人達を助けることができてよかったと思います。一人暮らしのおじいちゃん、おばあちゃんに「ありがとう」と言われてとてもうれしかったです。またこういうボランティアがあつたらやりたいと思います。(水戸 大地さんより)

心温まるご感想ありがとうございました。来年も一斉除雪実施していきたいと考えておりますので、地域の皆様なにとぞご協力の程、よろしくお願いします。

六郷高校福祉科通信

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。風邪などひいていませんか。六郷高校でも風邪が流行ってきました。皆さんもお気を付けてください。

福祉科二年生は後期の施設実習が終わりました。前期実習とは違い利用者さんとのふれ合いも多く、より専門的に実践的な実習をさせて頂くことができました。今後は、校内実習の充実と専門分野の学習に力を入れ、来年度の施設実習に向けて頑張りたいと思います。三年生は、「介護福祉士国家試験合格」を目指して、冬休みもほとんど登校して練習問題に取り組みました。是非よい結果を手にしたと思います。

三月。間もなく卒業です。福祉科三期生はほとんどの生徒が福祉に関わる仕事に従事する予定です。ここまで来ることができたのも、地域のみならずの協力があってこそと実感し、心から感謝しています。

お世話になったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、福祉の仕事に携わっていく一人として頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

【除雪ボランティア】

一月二十五日(金)一年生全員で「除雪ボランティア」を行いました。冬休み明けからよいお天気が続き、屋根の雪も溶け始めたため、実施できるかどうか不安でした。ところが、前日は大荒れ。風邪を引いている生徒も多く心配しましたが、生徒達の気持ちが届いたのか、除雪のお手伝いをすることができました。地域のボランティアの方々と一緒に作業する中で、いろいろと教えていただいたことがたくさんあったようです。ありがとうございました。

自宅では、ほとんど雪寄せをしたことのない生徒達ですが、一生懸命に頑張ったと思います。わざわざお礼状もいただき、照れながらも感激していました。今後も、地域のためにお手伝いして行きたいと思っています。



◆三月二日(日) 卒業証書授与式
 ◆三月十一日(火)～十八日(火) 学年末考査
 ◆三月二十一日(金) 終業式
 ※ 四月七日(月) 始業式
 ※ 四月八日(火) 入学式

今年度も福祉科・福祉部がさまざまな場面でボランティアに参加させていただきました。

二年前、ささたけのみどりをイメージした六郷高校の「のぼり」を作り、活動を行う会場に掲げてきました。

さらにボランティアを充実させるために『六郷高校ボランティア』と名を入れたピンクとブルーの活動エプロンを作成しました。これからエプロンを付けて、ますます活動したいと思いますので、どうぞ声をかけてください。





■六郷福祉センター受付分

一般寄付

子丑会 会長 高橋 勝夫様

香典返し

本道町 枝川 慶一様

塚 高橋 禮子様

上鑑田 川井 邦宏様

紀の国 高橋 弘昌様

■仙南福祉センター受付分

一般寄付

J A 秋田おばこ仙南地区女性部様

香典返し

大久保 佐々木弘夫様

橋 本 照井 政明様

野荒町 木村 嘉朗様

百目木 千葉 幸蔵様

野荒町 木村仁右エ門様

上中野町 高橋 範広様

※この他、2名の匿名希望の方よりご寄付いただきました。(千畑・六郷地区)

平成19年12月12日

平成20年2月13日受付分

■千畑福祉センター受付分

一般寄付

上畑屋 田口 博様より快気祝い

コスモスの会様

千畑中学校生徒会様

よねや商事株式会社様

香典返し

土崎南部 鈴木 和夫様

本堂中部 田口 一富様

千葉県 本間 博行様

北小屋 加藤 隆造様

千屋中部 戸澤 卓治様

小荒川 高橋 昭男様

安城寺上 奥山 慎吾様

安城寺上 森元 智様

安城寺下 鈴木 直勝様

善知鳥 煙山 紀雄様

千屋南部 高橋 定順様

以上の方々より当協議会に善意の金品をご寄付いただきました。
ご厚意に対し心からお礼申し上げます。

●皆さんのご厚意ありがとうございました。●

「ウツ木」のすくすく日記

まだまだ寒い日が続いていますね、だんだん暖かくなってきて、軒下の雪も柔らかくなってきています。外出の際にはくれぐれも気をつけてお出かけ下さい。

私はまだ深い雪に覆われています。早く窮屈な囲いを外してもらい、皆様に早く青々とした若葉をご披露したい今日この頃です。



福祉サービスの利用や介護の相談は一人で悩まず

美郷町介護事業所

仙南福祉センター内 ☎ 83-2122
にお気軽にご相談下さい。

千畑・六郷福祉センターでも
同様に相談を受け付けております。

- 千畑福祉センター ☎ 85-2294
- 六郷福祉センター ☎ 84-0378

訂正

前号(第11号)善意の欄の

千畑福祉センター受付分

香典返し

本堂城回 田口 富夫 (誤)

一般寄付

一丈木 田口 富夫 (正)

『まめだ屋』への寄付

馬 町 檜森 裕吉 (誤)

馬 町 檜森 吉裕 (正)

訂正して深くお詫び申し上げます。



社会福祉
法人

美郷町社会福祉協議会

〒019-1541

秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1

TEL 0187 (85) 2294 (代) FAX 0187 (85) 2291

千畑福祉センター 〒019-1541

六郷福祉センター 〒019-1402

仙南福祉センター 〒019-1234

秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1 TEL0187 (85) 2294 (代) FAX0187 (85) 2291

秋田県仙北郡美郷町野中下村37番地1 TEL0187 (84) 0378 (代) FAX0187 (84) 2822

秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島31番地3 TEL0187 (83) 2122 (代) FAX0187 (83) 2167